

浸水・冠水被害を受けた車両のユーザーの方へ

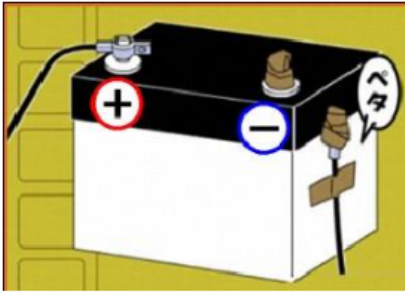
水に浸かった自動車は、外観上問題がないように見えても感電事故や、電気系統のショート等による車両火災が発生するおそれがありますので注意が必要です。

詳しくはこちらをご確認ください。

国土交通省ウェブサイト「自動車安全情報ポータルサイト」
『浸水・冠水被害を受けた車両のユーザーの方へ』

<https://renrakuda.mlit.go.jp/renrakuda/carsafety029.html>

浸水・冠水被害を受けた車両のユーザーの方へ



水に浸った車両は、外観上問題がなさそうな状態でも、感電事故や、電気系統のショート等による車両火災が発生するおそれがありますので、以下のように対処して下さい。

「浸水・冠水被害を受けた車両の対処方法」

1. 自分でエンジンをかけない。
2. 使用したい場合には、お買い求めの販売店もしくは、最寄りの整備工場にご相談下さい。特に、ハイブリッド車(HV)や電気自動車(EV)は、高電圧のバッテリーを搭載していますので、むやみに触らないで下さい。
3. なお、使用するまでの間、発火するおそれがありますので、バッテリーのマイナス側のターミナルを外して下さい。

※外したターミナルがバッテリーと接触しないような措置（テープなどで覆う）をして下さい。（注）JAF[一般社団法人日本自動車連盟]及びJAMA[一般社団法人日本自動車工業会]のHP において、同様の注意喚起がされていますので、ご参照下さい。

- ・ JAF のHP : <https://jaf.or.jp/common/attention/flood>
- ・ JAMA のHP : <https://www.jama.or.jp/library/carlife/15/>